

資料30 要求水準書との整合性の確認結果報告書（チェックリスト）【記入例】

【評価凡例】　○：整合　●：正当な理由のある変更　×：不整合　－：対象外（チェック段階の業務の範囲外）																
項目等	確認事項			基本設計時の セルフモニタリング結果			実施設計時の セルフモニタリング結果			施工時の セルフモニタリング結果			維持管理・運営時の セルフモニタリング結果 （四半期ごとに1回以上）			
				対応	参照先	評価	対応	参照先	評価	対応	参照先	評価	対応	参照先	評価	
・ ・ ・																
第2章　設計業務																
・ ・ ・				・ ・ ・												
第2節　設計業務対象施設に係る要件																
4．建築物																
(1)　管理棟																
		(ケ)トイレ棟	・ ・ ・													
			f. 男子トイレは洋式便器2基、小便器3基、女子トイレは洋式便器2基とし、多機能トイレ（洋式便器1基）を設置すること。小便器には汚垂石又は汚垂タイルを設けること。	男子トイレは提案時（応募時）の設計では便器数不足が判明したため、下記のとおり確保し要求水準を達成。 ・男子トイレは洋式便器2基、小便器3基。 ・女子トイレは洋式便器2基。 ・多機能トイレ（洋式便器1基）。 ・小便器には汚垂石又は汚垂タイルを設置。	平面図（●ページ）、仕上表（●ページ）、給排水衛生設備設計図（●ページ）	○	・便器数は基本設計どおり確保。 ・小便器には汚垂石を設置。	仕上表（図面No：A-●）、平面詳細図（図面No：A-●）、部分詳細図（図面No：A-●）、衛生陶器●図（図面No：P-●）、●●カタログ	○	実施設計図通り施工済みであることを監理者にて確認した。	○○施工図	○			－	
・ ・ ・				・ ・ ・												
第4章　維持管理業務																
第2節　建築物保守管理業務				・ ・ ・												
		1. 日常（巡視）保守点検業務	事業者は、本施設の建築物等が正常な状況にあるかどうかについて、現場を巡回して観察し、異常を発見した時は正常化のための措置を行うこと。										－	日常巡回点検を行い、その結果は月次報告書の●に記載。 ●月●日は●●の破損を発見し、メンテナンスとして●●対応を行った。	月次報告書	○
・ ・ ・				・ ・ ・												
第5章　運営業務																
第3節　運営管理業務																
		2. 総務・経理業務	・ ・ ・													
		(2)　業務報告書（月次・年間）の作成	a事業者は、事業期間中、以下に示す事項を記載した毎事業年度の業務報告書（月次・年間）を作成し、月次業務報告書は翌月10日まで、年間業務報告書は毎年度の末日の翌日から起算して60日以内に本町に提出すること。			－				－		－	事業契約書に基づく期限内に提出・報告済み。（令和●年●月●日、令和●年●月●日）	業務報告書	○	
・ ・ ・				・ ・ ・												

- * 1　記載例の為、限られた項目のみを抽出している。実際は要求水準書の全ての内容をチェックリスト化すること。
- * 2　要求水準書本編だけでなく、要求水準書の添付資料の内容も可能な限りチェックリスト化すること。
- * 3　「項目等」及び「確認事項等」並びに各業務段階の「対応」、「参照先」及び「評価」の列は必須とするが、より良いセルフモニタリングの為に列を追加する提案を妨げない。
- * 4　設計、建設・工事監理、維持管理、運営の全ての業務段階に渡る項目（事業全体に係る項目）は、全ての業務段階でのチェックが必要である。